

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	船川港金川多目的広場(OGAマリンパーク)	所在地	秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り一号
指定管理者	男鹿市	県所管課	港湾空港課 調整・クルーズ・空港チーム

1 施設の概要													
設置目的	スポーツ・レクリエーションの場として利用増進を図り、もってゆとりある県民生活の実現に寄与するため。												
県の施策上の施設の位置付け	なし												
設置年	2004年	経過年数	30年	目標使用年数	38年	残年数	8年	施設面積	125,000㎡				
施設の設置状況	球技場、管理棟、芝生広場(憩いの広場、高麗芝)、展望・修景広場、駐車場												
県内類似施設	秋田県立臨海スポーツ公園(秋田市向浜地区)、本荘マリーナ海水浴場・多目的広場(由利本荘市)					東北各県類似施設		種市フィッシャマリーナ(岩手県)、小名浜港アクアマリンパーク(福島県いわき市)					
施設の基本的な方針(個別施設計画)	方向性	方向性に向けた対応											
	存続	※個別施設計画外 利用者のため、機能保全に必要な維持管理、修繕を行い施設を維持する。											
料金制	完全利用料金制	主な料金設定	○入場料を徴収しない場合 ・アマチュアスポーツ：1時間 一般330円、高校生以下無料、1日 一般2,640円、高校生以下無料 その他催事：1時間3,300円、1日26,400円 ○入場料を徴収する場合 ・アマチュアスポーツ：1時間 一般660円、高校生以下無料、1日 一般5,280円、高校生以下無料 その他催事：1時間6,600円、1日52,800円										
指定期間	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日 (5年間)					営業期間・時間 4月から10月まで 8:00から18:00まで							
指定管理業務の内容	・使用の許可、取消等の業務 ・維持管理に関する業務 ・利用促進に関する業務					自主事業の内容		・使用の許可、取消等の業務 ・維持管理に関する業務 ・利用促進に関する業務					
サウンディング実施対象	×	年間利用者数(人)	R3	R4	R5	R6	R7	年間利用収入(千円)	R3	R4	R5	R6	R7
			6,547	16,086	15,213	17,352	20,228		10	1	1	0	3
収支決算(千円)	収入	項目	R3	R4	R5	R6	R7	増減要因の分析					
		利用料収入	6	1	1		3	年間利用者数 毎年開催している男鹿日本海花火や男鹿ナマハゲロックフェスティバルの他に、今年度から新たにOGAなまはげユースサッカーフェスティバルが開催され、県外のチームも多数出場するなど、年々利用者(来場者)は増加している。 収入の面に関して、利用者収入は前年度に比べほぼ変動はない。 支出の面に関して、物価の高騰により、年々支出額が増加している。特に光熱水費に関して、夏場の気温上昇による散水量の増加や、電源装置の修理による使用量の増加が原因で、昨年に比べ大幅に費用が増加した。					
	指定管理料												
	その他収入	12,201	18,301	17,494	18,718	20,798							
	合計	12,207	18,302	17,495	18,718	20,801							
	支出	人件費											
		光熱水費	492	638	650	559	1,017						
		修繕費	310		57	269	836						
		委託料	11,405	17,664	16,788	17,508	18,948						
		その他支出				382	0						
合計	12,207	18,302	17,495	18,718	20,801								
収支差	0	0	0	0	0								

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	船川港金川多目的広場(OGAマリンパーク)	所在地	秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り一号
指定管理者	男鹿市	県所管課	港湾空港課 調整・クルーズ・空港チーム

2 <観点I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

運営方針・施設の利用目標	スポーツ利用等によるゆとりのある県民生活実現のため、安全対策のもと施設の適切な維持管理に努める。				
目標・実績	目標の内容	利用者数18,000人			
	年度	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析
	目標	8,000	15,000	18,000	
	実績	15,673	17,352	20,228	年々利用者数は増え、目標を達成している。
	達成率	195.9%	115.7%	112.4%	
具体的な取組とその効果	男鹿日本海花火やスポーツイベント等の開催により、目標利用者数が増加したことで、ゆとりある県民生活の実現に寄与している。				
次年度の目標	目標の内容	利用者数 23,000人			
	設定の根拠	引き続きスポーツ・レクリエーションの場として利用増進を図り、管理運営に努める。			
<観点I> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	A	芝生の整備や設備の点検等適切な管理を行った結果、スポーツ・レクリエーション施設としての利用増進に繋がると考えられる。		
	県所管課	A	花火大会の開催や、スポーツイベントの実施により、多くの方に利用された。今後もイベントでの活用等により、今後も同程度の利用者数を期待する。		

3 <観点II> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

利用者満足度の実績	年度	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析
	実績 (%)	-	-	-	
	具体的な取組とその効果	本施設は港湾緑地であり、体育施設以外は一般開放しているため、アンケート調査等は実施していないが、利用団体から意見・要望があった際は、施設管理をするうえで参考としている。			
<観点II> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	B	利用者も年々増え続け、施設を有効的に利活用できている。一方で、昨年8月、利用者が数時間管理棟の個室トイレに閉じ込められる事例が発生し、安全対策を今一度徹底する必要がある。		
	県所管課	B	一般開放している緑地であるため利用者へのアンケート調査等は行っていないが、利用団体に聞き取りを行い参考としていることに加え、一部課題となる施設閉じ込め事案があったことから今後の安全対策をより徹底するとしている。この他、総じて利用者から不満の声等も寄せられていないことから、安定した運営が行われていると言える。		

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	船川港金川多目的広場(OGAマリンパーク)	所在地	秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り一号
指定管理者	男鹿市	県所管課	港湾空港課 調整・クルーズ・空港チーム

4 <観点Ⅲ> 県民サービス及び業務効率性の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

モニタリング項目	モニタリング項目		主な視点	指定管理者	県所管課
	①	②			
モニタリング項目	管理運営体制	① 職員の配置状況	事業計画書等に照らして適切な職員配置となっているか 等	A	A
		② 職員の勤務実績	事業計画書等に照らして適切な勤務実績となっているか 等	A	A
		③ 職員の処遇等	職員の処遇が労働法規に反していないか 等	A	A
		④ 施設等の適切な管理	事業計画書等に照らして日常的な保守管理や定期点検、清掃、警備、修繕等がなされているか 等	A	A
		⑤ 備品の適切な管理	備品の紛失・損傷はないか 等	B	B
		⑥ 個人情報の保護	個人情報取扱特記事項が遵守されているか 等	A	A
		⑦ 安全・安心の確保	事故防止マニュアルや緊急時連絡体制を整備しているか 等	B	B
		⑧ 経費の低減・収入の増加	経費の低減や収入の増加の取組が進められ、前年度と比較し、施設の収支状況が改善されたか 等	B	B
		⑨ 健全な経営	指定管理者選定時の財務指標と比較し、特段の経営の悪化がみられないか 等	A	A
	サービス向上	① 閉館日・開館時間等	事業計画書等に照らして適切な開館状況となっているか 等	A	A
		② 業務の実施	事業計画書等に照らして適切な業務が実施されているか 等	A	A
		③ 施設の使用許可	事業計画書等に照らして適切に使用許可がなされているか、優先的又は不利益な取り扱いはないか 等	A	A
		④ 職員の接客	丁寧な対応や挨拶がなされているか、名札着用や適正な服装をしているか 等	A	A
		⑤ 広報・利用情報の発信	ウェブサイトやSNS、パンフレットなど、多様な媒体により積極的な広報を実施しているか 等	B	B
⑥ 利用者の相談・意見・苦情		ウェブサイトや電話等による相談窓口を整備し、利用者からの相談・意見・苦情への対応策を講じているか 等	A	A	
⑦ 課題への対応		利用状況のほか、満足度調査等から課題を抽出し、対応策を講じているか 等	B	B	

<観点Ⅲ> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）
	指定管理者	B	本施設はサッカーやグラウンドゴルフ等芝生広場の他に、釣りやランニング等様々な用途で使用されている。芝生整備を始めとする施設の維持管理については毎年業務委託し、利用しやすい環境を保持している。一方、ペットの放し飼いやマナーを遵守しない利用者があると苦情もあり、利用者の利便性向上のため、施設の巡回や注意喚起を徹底して行う必要がある。
県所管課	B	収入のほぼ全額が男鹿市の市費であることから本評価はなじまないが、利用料の徴収以外の面で利用者数の増加による男鹿市への滞在経費や食費など「まちの活性化」として広範にメリットをもたらしており、引き続き男鹿市の市費投入による管理を行っていくとして方針を聞いている。これらから、燃料費や人件費が高騰している中、必要な経費を精査し、適切な管理を行っている。	

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度【令和7年度】

施設名	船川港金川多目的広場(OGAマリナーパーク)	所在地	秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り一号
指定管理者	男鹿市	県所管課	港湾空港課 調整・クルーズ・空港チーム

5 県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方

県の施策の達成状況	市内のスポーツ団体に限らず、市外・県外のスポーツ団体等多数の利用者からスポーツ・レクリエーション施設として親しまれており、スポーツ等を起点としたゆとりある県民生活の実現に寄与している。
施設運営の課題	利用者のモラル違反や予期せぬトラブルも想定しながら、施設の老朽化等不具合が無いが定期的に点検し、危険性がある箇所は専門の業者から確認を依頼するといった対策が必要。
今後の方向性	今後も益々、スポーツ団体等の利用が多くなると考えられる。引き続き多くの県民が安全にスポーツやレクリエーションを行える施設として活用できるよう、指定管理者と随意情報交換、作業の機械化の検討などを行いながら、維持管理に努めていく。

6 外部有識者委員会による評価（提言）

評価(提言) 令和7年度	施設の管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ○物価高騰等の影響により支出額が増加傾向にあることから、引き続き経費の削減に努めるほか、収入の確保方策についても一層の検討が必要と判断される。 ○大規模な花火大会や各種イベントの継続開催により、施設利用者数は目標を達成している一方で、コロナ禍以前の水準まで回復していないことから、利用者の増に向けた新たな取組を期待したい。
	県の施策達成に向けた施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的な維持管理費については、指定管理者である男鹿市が負担している一方、老朽化に伴う大規模修繕等に当たっては、県の財政負担が生じることも想定されることから、予め真に必要な設備の精査を行うなど、財政負担の削減に努めていただきたい。 ○観光面としての役割のほか、県の地域防災計画において防災拠点として位置付けられるなど、防災面としての役割も担う施設であるため、緊急時における県民の安全性の観点から、適切な維持管理に努める必要がある。
評価(提言)を踏まえた対応方針 令和7年度	指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ○例年、各種スポーツ団体をはじめ、花火大会、防災訓練等の多くの利用者があることから、利用者の満足度向上のため、芝生の維持管理や草刈り等を実施する他、定期的に施設や使用機材の点検を行い、適切な維持管理に努める。 ○施設の修繕については、点検で確認できるものは予算化しているが、経年劣化により突発的に修繕を要する事象も多く発生している。大規模修繕を必要とする場合は、県や他課、業者等へ相談し、緊急性や必要性を判断し対応する。
	県所管課	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の老朽化に伴う大規模修繕や突発的に発生する修繕について、指定管理者と施設の状況や緊急性を協議・判断し、財政負担の削減に努めたい。 ○収入の確保や、施設利用者数の更なる増加に向けて、新たな自主事業などによるイベントの展開を指定管理者と検討したい。
対応方針の進捗状況 令和8年度	指定管理者	今年度も芝生整備、施設点検のほか、物価高騰や経年劣化を鑑みて予算化し、施設利用の安全性や利用満足度向上に向け取り組んでいる。
	県所管課	上四半期を過ぎたばかりであるが、令和7年度対応方針としている、先を見据えた修繕計画を指定管理者と相談しながら共有し、修繕の平準化を図るなど効率化に努めたい。また、市がしっかりと指定管理を担っていく旨の方針も改めて話されていることから、市の意見を優先に今後の収入策を相談していく。